

エコアクション21
環境活動レポート



有限会社 塩川産業

対象期間 平成29年10月1日～平成30年9月30日

発行日
作成者
承認者

令和1年8月21日
遠藤 紘徳
塩川 聖一

目次

①	組織の概要	P2
②	対象範囲	P10
③	環境方針	P11
④	環境目標	P12
⑤	環境活動計画	P13
⑥	環境目標の実績	P14
⑦	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	P15
⑧	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P17
⑨	代表者による全体評価と見直しの結果	P18

① 組織の概要

令和1年7月20日
作成 遠藤紘徳

事業所名及び代表者氏名

有 限 会 社 塩川産業
代表取締役 塩川聖一

所 在 地

本社
宮崎県宮崎市大字新名爪字谷廻4090番地21
新名爪リサイクルセンター 第1工場
宮崎県宮崎市大字新名爪字谷廻4090番地21
新名爪リサイクルセンター 第2工場
宮崎県宮崎市大字新名爪字谷廻4090番地37
新名爪リサイクルセンター 第3工場
宮崎県宮崎市大字新名爪字谷廻4143番地6
新名爪リサイクルセンター 再資源化センター
宮崎県宮崎市池内町地金3951番地15
村角工場
宮崎県宮崎市村角町萩崎2760番地1

環境管理責任者氏名及び
担当者連絡先

業務部門 EA21責任者 遠藤 紘徳
0985-39-7555

事業活動の内容についての
簡単な記述

廃棄物処理業(廃棄物の収集運搬及び中間処理
(破碎・圧縮・手選別)・リサイクル業

事業の規模

法人設立年月日

平成元年 2月15日

資本金

1,200万

年度

売上高

産業廃棄物の収集運搬量

処分量

従業員数

平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
309百万円	304百万円	324百万円	410百万円
6,933t/年	7,089t/年	8800t/年	9069t/年
8,552t/年	8,790t/年	10415t/年	11027t/年
48名	49名	56名	53名

事業所の延べ面積等

【積替保管施設ごとの面積、保管上限量等】

①宮崎市大字新名爪字谷廻4090番地21
新名爪リサイクルセンター第1工場
金属くず(容器保管):面積6.66㎡ 保管上限6.01m³
②宮崎市大字新名爪字谷廻4090番地37外3筆
新名爪リサイクルセンター第2工場
廃アルカリ:面積6㎡ 保管上限1.08m³ 20Lペール缶3缶
③宮崎市大字新名爪字谷廻4143番地6外3筆
新名爪リサイクルセンター第3工場
廃タイヤ(容器保管):面積377.50㎡ 保管上限273.70m³
混合物(容器保管):面積74.39㎡ 保管上限:54.72m³
④宮崎市村角町萩崎2760番地1
廃タイヤ(容器保管):156㎡ 保管上限320m³

【許可の内容】

No.	産 業 廃 棄 物 処 分 業			積 替 え ・ 保 管	許 可 品 目													優良 産 廃 処 理 業 者	
	都道府県 ・政令市	許 可 番 号	上段:許可年月日 下段:有効期限		燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プ ラ	紙 く ず	木 く ず	線 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ 陶 く ず		が れ き 類
①	宮 崎 市	09320018154	平成27年 5月 11日 平成34年 4月 26日							○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

No.	産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業			積 替 え ・ 保 管	許 可 品 目													優良 産 廃 処 理 業 者	
	都道府県 ・政令市	許 可 番 号	上段:許可年月日 下段:有効期限		燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プ ラ	紙 く ず	木 く ず	線 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ 陶 く ず		が れ き 類
②	宮 崎 県	04500018154	平成30年11月 5日 平成37年11月 4日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
③	宮 崎 市	09310018154	平成23年11月 25日 平成30年11月 4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
④	福 岡 県	04000018154	平成23年12月 28日 平成30年12月 27日				○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	認定
⑤	大 分 県	04404018154	平成27年 1月 24日 平成34年 1月 23日						○										
⑥	鹿児島県	04602018154	平成27年 9月 25日 平成34年 9月 24日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

No.	特別管理産業廃棄物収集運搬業			積 替 え ・ 保 管	許 可 品 目													優良 産 廃 処 理 業 者
	都道府県 ・政令市	許 可 番 号	上段:許可年月日 下段:有効期限		廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 石 綿										
⑦	宮 崎 県	04550018154	平成24年 1月 10日 平成31年 1月 9日		○	○	○	○										認定
⑧	宮 崎 市	09360018154	平成26年 2月 10日 平成31年2月 9日	○	○	○		○										
⑨	鹿児島県	04654018154	平成29年 7月 30日 平成34年 7月 29日					○										
⑩	山 口 県	03550018154	平成29年 8月 1日 平成34年 7月 31日					○										
⑫	福 岡 県	04050018154	平成27年 9月 30日 平成32年 9月 29日		○	○	○	○										

No.	一 般 廃 棄 物			一 般 廃 棄 物	許 可 品 目													
	都道府県 ・政令市	許 可 番 号	上段:許可年月日 下段:有効期限															
⑬	宮 崎 市	4	平成29年11月 1日 平成31年10月 31日	○														

【施設の内容】

- ① 種 類：破砕施設
許可品目：廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
設置場所：宮崎市大字新名爪字谷廻4090番地21(第1工場)
処理能力：4.8t/日(8時間)
設備概要：ラサ工業(株)製 二軸式剪断破砕機TCE-1610
- ② 種 類：圧縮施設
許可品目：廃プラ、紙くず、金属くず
設置場所：宮崎市大字新名爪字谷廻4090番21(第1工場)
処理能力：4t/日(8時間)
設備概要：宮崎工機製 高圧プレス機
- ③ 種 類：圧縮施設
許可品目：廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず
設置年月日：平成18年1月6日
設置場所：宮崎市大字新名爪字谷廻4143番6(第3工場)
処理能力：2.4t/日(8時間)
設備概要：モリンダス製 ブリックマン300型
- ④ 種 類：圧縮施設
許可品目：廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず
設置年月日：平成18年1月6日
設置場所：宮崎市大字新名爪字谷廻4155番24(第3工場)及び宮崎市内の排出事業場
処理能力：5t/日(8時間)
設備概要：パルテック製マルチコンパクターKPC3型
- ⑤ 種 類：圧縮施設
許可品目：廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず
設置場所：宮崎市大字新名爪字谷廻4143番6(第3工場)及び宮崎市内の排出事業場
処理能力：10t/日(8時間)
設備概要：パルテック製マルチコンパクターKPC6L型
- ⑥ 種 類：圧縮・切断施設
許可品目：廃プラ、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
設置年月日：平成18年1月6日
設置場所：宮崎市大字新名爪字谷廻4143番6
処理能力：17t/日(8時間)
設備概要：(株)いすゞ製 タブリングシャーDSL-40型
- ⑦ 種 類：切断施設
許可品目：廃プラ、紙くず、金属くず
設置年月日：平成18年1月6日
設置場所：宮崎市大字新名爪字谷廻4090番21(第1工場)
処理能力：295kg/日(8時間)
設備概要：(株)旭測電機製 自動車用オイルフィルターOFCS-01型
- ⑧ 種 類：破砕・圧縮施設
許可品目：廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、動植物性残さ(固形物に限る)
設置年月日：平成16年6月25日
設置場所：宮崎市大字新名爪字谷廻4090番37他3筆(第2工場)
処理能力：12t/日(8時間)
許可年月日：平成16年6月21日
許可番号：0401
設備概要：①ラサ工業(株)製 プッシャー付一軸剪断破砕機LSC-15
②旭機械(株)製 製形機P-3000

施設等の状況(運搬車両の種類)

1	宮崎100 は631	8tクラム車	6.20t 脱着装置付	(14m ³ ・8m ³)
2	宮崎100 は685	8tユニック車	7.00t 脱着装置付	(14m ³ ・8m ³)
3	宮崎100 す1827	4t車	3.85t 脱着装置付	(14m ³ ・8m ³)
4	宮崎100 は2294	8tクラム車	6.70t 脱着装置付	(14m ³ ・8m ³)
5	宮崎800 は716	6t塵芥車	3.60t	
6	宮崎100 は2675	8tクラム車	6.20t 脱着装置付	(22m ³ ・14m ³ ・8m ³)
7	宮崎100 さ2040	4t車	4.00t 脱着装置付	(14m ³ ・8m ³)
8	宮崎800 さ8170	4t塵芥車	2.10t	
9	宮崎100 さ1970	4t車	3.75t 脱着装置付	(14m ³ ・8m ³)
10	宮崎100 さ2503	3t車	3.00t 脱着装置付	(4m ³)
11	宮崎100 さ2324	3tクラム車	3.50t 脱着装置付	(4m ³)
12	宮崎100 は707	12t大型車	12.40t 脱着装置付	(40m ³)
13	宮崎100 す5233	3tユニック車	3.20t キャブ・オーバ	
14	宮崎100 さ2829	3t車	3.00t 脱着装置付	(4m ³)
15	宮崎100 は283	8t車	5.70t キャブ・オーバ	
16	宮崎800 は1075	6t塵芥車	6.00t	
17	宮崎100 す6796	3tユニック車	3.55t キャブ・オーバ	
18	宮崎100 す7263	3tユニック車	2.45t キャブ・オーバ	
19	宮崎480 た787	軽バン	0.35t バン	
20	宮崎480 た788	軽バン	0.35t バン	
21	宮崎400 た9783	バン	0.75t バン	
22	宮崎100 す8971	3tユニック車	3.10t キャブ・オーバ	
23	宮崎100 す9258	4t車	3.55t 脱着装置付	(14m ³ ・8m ³)
運搬車両 以上23台				

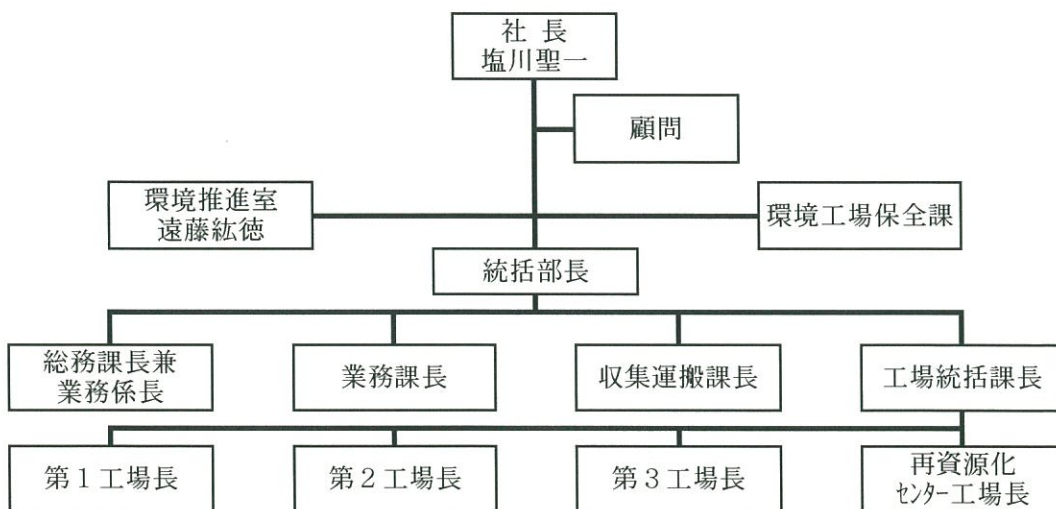
廃棄物処理料金

収集運搬料金及び処理料金については、種類・量・距離により計算いたします。当社までお電話ください。(0985)39-7555
無料でお見積もりいたします。

事業体制(組織図)

平成30年12月15日現在

有限会社 塩川産業 組織図



代 表 者	環境方針の策定 環境管理責任者の任命 資源の投入(人・モノ・金、環境への取組への必要な人員、設備、費用等の準備) 環境目標の達成状況把握及び見直し・指示
環境管理責任者	環境目標及び環境活動計画の策定 社長に代わってガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・運用 環境目標の達成状況の確認と是正処置 環境経営システムの構築・運用状況を代表者に報告
環 境 委 員 会	環境負荷及び環境活動データの収集・集計 環境活動レポートの作成
各 部 担 当 者	環境目標達成のため、他の従業員への環境活動の指導 環境活動取組状況報告

人員配置及び職務分掌

総務部:5名

- ・処理委託契約書の作成、管理
- ・マニフェスト管理
- ・その他の庶務
- ・決算管理、資産運用
- ・人事関係
- ・その他これらに付随する業務

業務部:7名

- ・顧客管理
- ・処理についての受注及び問い合わせ受付
- ・その他これらに付随する業務

収集運搬部:13名

- ・廃棄物の収集運搬業務
- ・マニフェスト交付
- ・車輛管理及び点検・管理
- ・その他これらに付随する業務

中間処理部:28名

- ・廃棄物の中間処理作業
- ・工場内の点検・管理
- ・その他これらに付随する業務

環境関連技術資格の名称と取得人数

ISO14001内部環境監査員養成コース	9名
安全衛生管理者	2名
特別管理産業廃棄物管理責任者	5名

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新)の処分課程
(財)日本産業廃棄物処理振興センター 修了日:平成25年6月13日 1名 (修了証番号613132058)

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新)の収集運搬過程
(財)日本産業廃棄物処理振興センター 修了日:平成30年7月18日 1名 (修了証番号518037076)
修了日:2019年7月2日 1名 (修了証番号519030061)

産業廃棄物処理施設技術管理者認定講習(中間処理施設コース)
(財)日本環境衛生センター 修了日:平成12年3月10日 1名 (修了証番号053399)

技術管理者のための専門的知識及び技能を修得する講習(再履修課程)
(財)日本環境衛生センター 修了日:平成16年2月25日 1名 (修了証番号03440031)

破碎・リサイクル施設技術管理士 資格認定講習
(財)日本環境衛生センター
修了日:平成19年10月26日 1名 (修了証番号024474)
修了日:平成20年10月31日 1名 (修了証番号027080)
修了日:平成21年1月30日 1名 (修了証番号027856)
修了日:平成22年1月29日 1名 (修了証番号030329)
修了日:平成26年5月29日 1名 (修了証番号040265)

産業廃棄物処理委託契約実務講習
(財)日本環境衛生センター
修了日:平成16年7月13日 3名 (修了証番号044015058)
(修了証番号044015059)
(修了証番号044015092)
修了日:平成16年11月2日 1名 (修了証番号044016056)
修了日:平成17年12月7日 2名 (修了証番号054539003)
(修了証番号054539005)
修了日:平成20年2月6日 2名 (修了証番号074570112)
(修了証番号074570113)

産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(新規)の収集運搬過程
(財)日本産業廃棄物処理振興センター 修了日:平成18年10月4日 1名 (修了証番号106067011)
修了日:平成20年10月8日 1名 (修了証番号108066010)
修了日:平成22年10月6日 1名 (修了証番号110057009)

産業廃棄物収集運搬車輻運転者講習
(財)日本環境衛生センター
修了日:平成16年7月13日 2名 (修了証番号044005167)
(修了証番号044005168)
修了日:平成19年1月30日 2名 (修了証番号064525057)
(修了証番号064525058)
修了日:平成25年2月14日 1名 (修了証番号124516011)

特別管理産業廃棄物管理責任者講習会
(財)日本産業廃棄物処理振興センター
修了日:平成8年8月8日 1名 (修了証番号996024001)
修了日:平成18年10月5日 1名 (修了証番号906061014)
修了日:平成19年10月4日 1名 (修了証番号907071069)
修了日:平成19年10月4日 1名 (修了証番号907071070)
修了日:平成20年10月9日 1名 (修了証番号908079018)

廃棄物焼却施設におけるダイオキシン類対策にかかる作業指導養成研修
中央労働災害防止協会
修了日:平成14年1月11日 1名 (修了証番号40-101)

一般廃棄物収集運搬・処分業者講習
(財)日本環境衛生センター
修了日:平成16年10月22日 1名 (修了証番号10446058)
修了日:平成19年1月31日 1名 (修了証番号10631004)
修了日:平成20年1月17日 2名 (修了証番号10730005)
(修了証番号10730006)
修了日:平成21年2月14日 1名 (修了証番号10837017)
修了日:平成23年2月18日 1名 (修了証番号11028003)

冷媒回収技術者登録
(社)日本冷凍空調工業会・(社)日本冷凍空調設備工業連合会・日本フルオロカーボン協会
有効期限:平成32年9月30日 1名

産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会
(社)宮崎県産業廃棄物協会
平成20年1月23日 1名 (080123-14号)

はい作業主任者技能講習
陸上貨物運送事業労働災害防止協会
修了日:平成20年1月28日 1名 (修了証番号45013175)

環境カウンセラー
事業者部門登録
環境大臣(2007145002)
登録年月日:平成20年4月1日 1名
平成24年度九州地区研修会
修了日:平成24年12月17日 1名 (登録番号2007145002号)

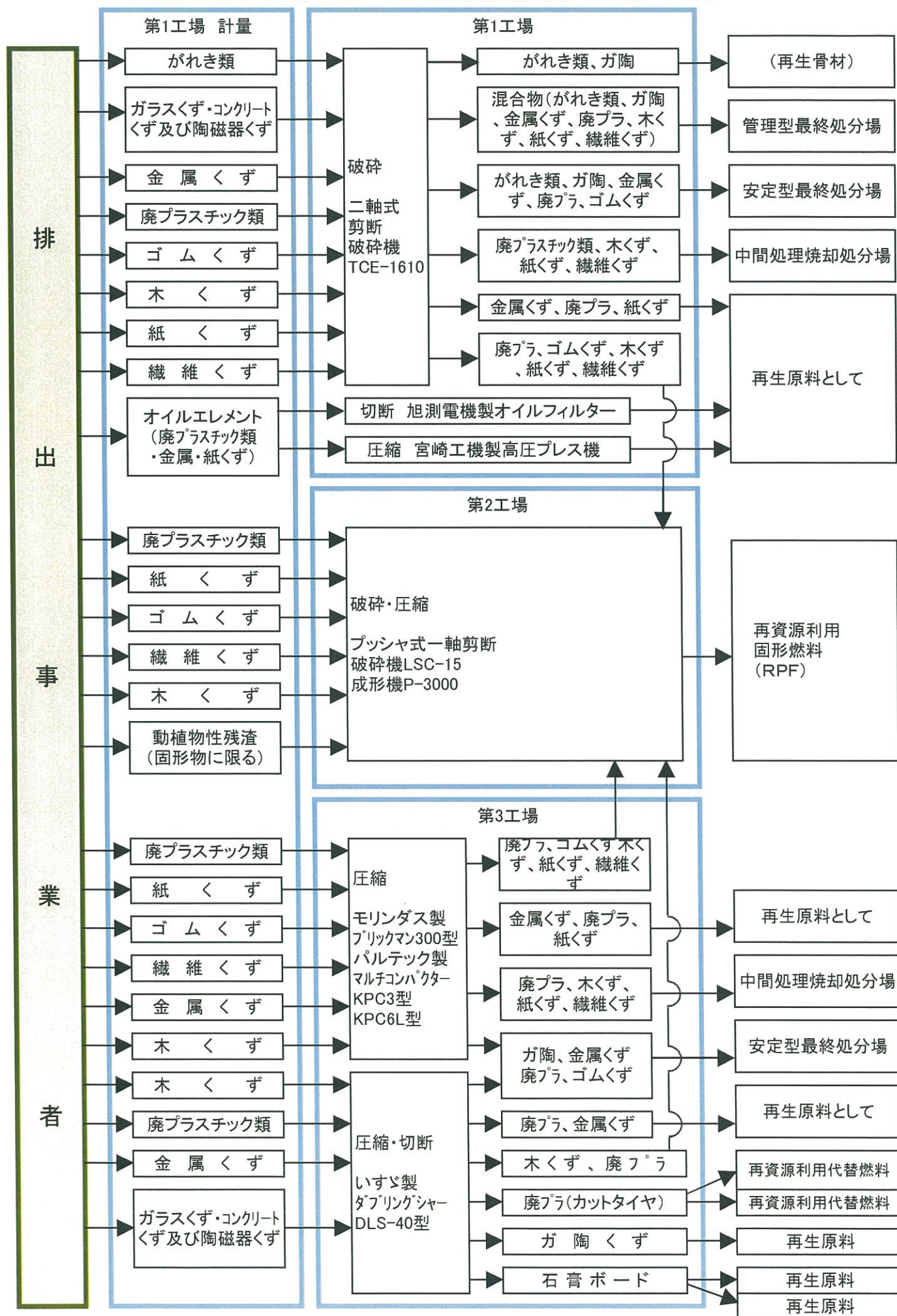
解体工事施工技師
(社)全国解体工事業団体連合会
有効期限:平成30年4月30日 1名 (登録番号07450006号)
有効期限:平成30年4月30日 1名 (登録番号07450014号)

地域融和:環境保全上の利害関係者に対する事業場の公開の有無および公開している場合にはその頻度
随時一般公開。(要:電話での事前予約)

評価基準に適合していることについての自己申告(任意)
遵法性に関して適合していることの申告:廃棄物処理法や浄化槽法など、環境関連法の規定による
不利益処分を受けその不利益処分のあった日から5年を経過
しない者に該当しません。

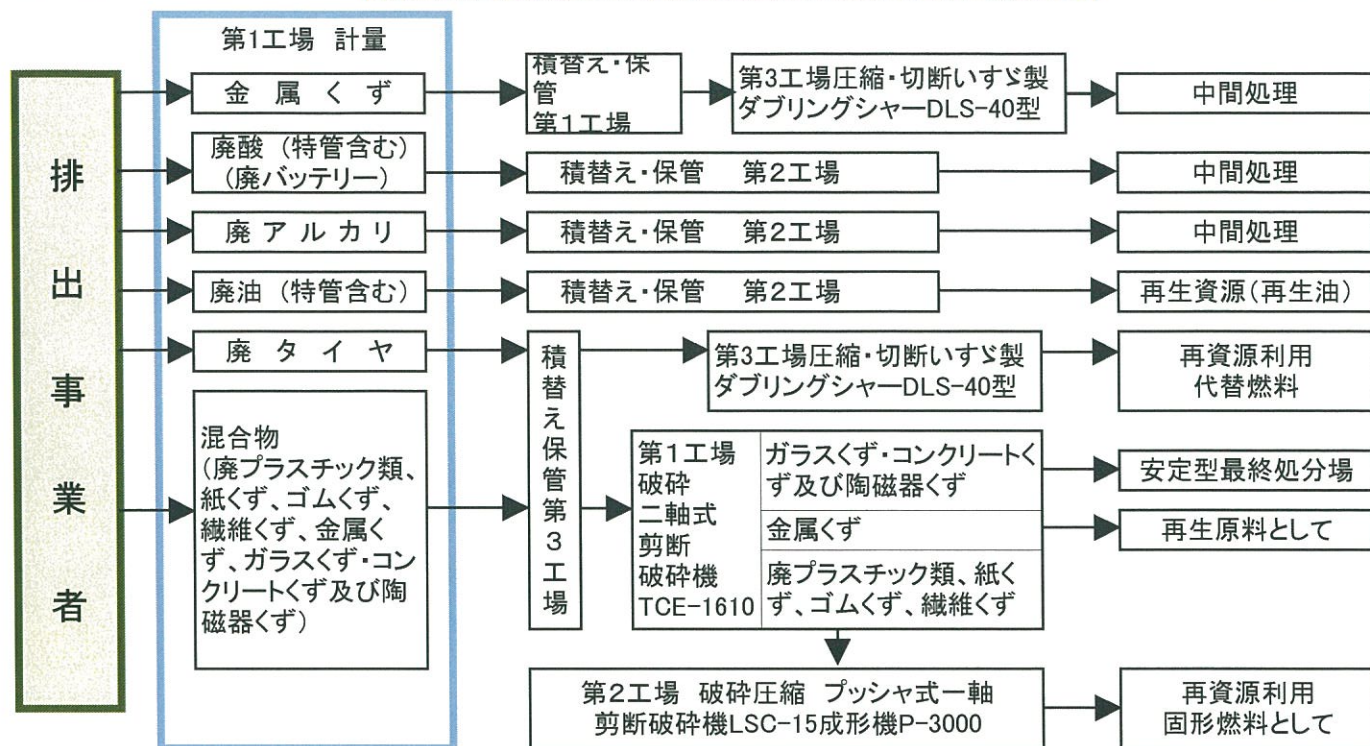
情報開示に関して適合していることの申告:ホームページ開設(2001年1月より)、産廃情報ネット登録

環境保全への取り組みに関して適合していることの申告
みやぎエコアクション 認証取得 (2007年3月30日～)

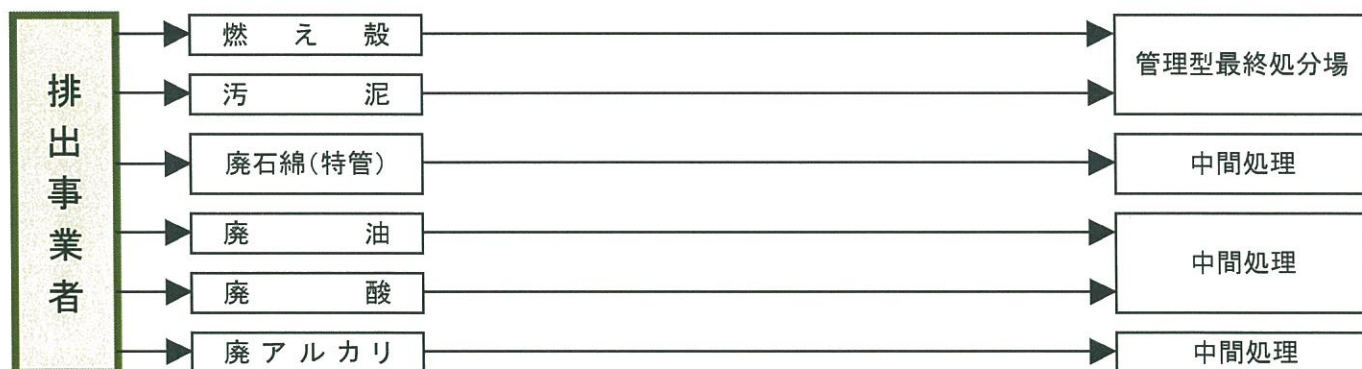


積 替 え ・ 保 管 フ ロ ー 図

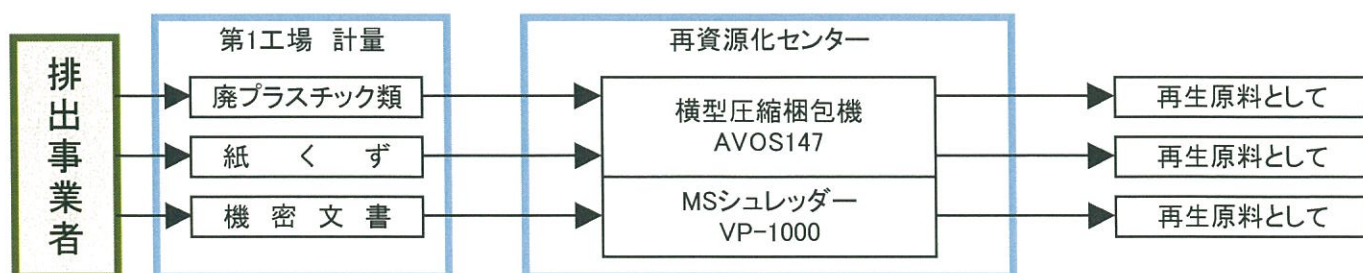
En20181020



積 替 え ・ 保 管 な し フ ロ ー 図



有 価 物 ・ 機 密 文 書 フ ロ ー 図



消 火 器 フ ロ ー 図



② 対象範囲

認証・登録範囲

廃棄物処理業(廃棄物の収集運搬及び中間処理(破碎・圧縮・手選別))、リサイクル業
本社・第1工場、第2工場、第3工場、再資源化センター、村角工場

レポートの対象期間

平成29年10月1日から平成30年9月30日

レポートの発行日

平成30年 8月21日

環 境 方 針

当社は、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理を社業としている。

事業推進に際しては、まずは、当社に関係する環境関連の法規制その他の要求事項を遵守するとともに、地球環境保全と汚染予防を最重要課題であると認識し、地域から信頼される社業を目指しこの環境方針を策定する。

- 1) 事業活動・サービスが環境に与える影響を把握し、これを軽減させるため環境目標を設定し、定期的に検証を行い継続的な改善に努める。
- 2) 地域の信頼を損なわないよう気配りをし、環境の汚染防止に努めていく。
- 3) 日常業務は安全、確実に進め、仕事の仕組みを見直し、継続して改善を積み上げていく。
- 4) 環境影響を軽減するため、次の活動を実施する。
 - ・ 5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）活動を積極的に推進する。
 - ・ 環境を配慮した作業活動の推進に努める。
（カットタイヤの推進、廃棄物の RPF 化）
 - ・ 地球温暖化防止のため CO2 削減を推進する。
 - ・ 事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、廃棄物を削減する。
 - ・ 省資源に努め、会社で使用する水を削減する。
 - ・ グリーン購入の推進を行う。

当社の環境方針は全従業員に周知し、全員で取り組む。なおこの環境方針は、一般のひとにも公開する。

制定日：平成 15 年 6 月 30 日

改定日：平成 24 年 11 月 16 日

有 限 会 社 塩 川 産 業

代表取締役 高川 聖一

平成29年から平成31年 環境目標

作成者 遠藤紘徳

改定日 平成30年3月25日

項 目		年度	基準値	平成29年	平成30年	平成31年
		単位	平成29年10月から 12月の平均値より 算出	(目標)	(目標)	(目標)
二酸化炭素 排出量	電力 (kwh)	%		-1.0%	-1.5%	-2.0%
		消費量	19,920.00	19,720.80	19,621.20	19,521.60
		(kg-CO2)	10,318.56	10,215.37	10,163.78	10,112.19
		%		-1.0%	-1.5%	-2.0%
		消費量	477,786.80	473,008.93	470,620.00	468,231.06
		(kg-CO2)	219,304.14	217,111.10	216,014.58	214,918.06
	燃料 (ℓ)	%		-1.0%	-1.5%	-2.0%
		消費量	162,724.56	161,097.31	160,283.69	159,470.07
		(kg-CO2)	420,637.02	416,430.65	414,327.47	412,224.28
		%		-1.0%	-1.5%	-2.0%
		消費量	9,117.36	9,026.19	8,980.60	8,935.01
		(kg-CO2)	21,167.41	20,955.74	20,849.90	20,744.06
	全体	%		-1.0%	-1.5%	-2.0%
		(kg-CO2)	671,427.13	664,712.86	661,355.73	657,998.59
		%				
		(kg-CO2)				
廃棄物排 出量(最終 処分量)	一般 廃棄物	%		-1.0%	-1.5%	-2.0%
		(t/年)	0.40	0.40	0.39	0.39
		%				
	産業 廃棄物	(t)				
		%		-1.0%	-1.5%	-2.0%
		(t/年)	4,567.92	4,522.24	4,499.40	4,476.56
		%				
	全体	(t)				
		%		-1.0%	-1.5%	-2.0%
		(t/年)	4,568.32	4,522.64	4,499.80	4,476.95
総排水量	水使用量	%		-1.0%	-1.5%	-2.0%
		(m³/年)	399.00	395.01	393.02	391.02
		%				
グリーン 購入	環境配慮 商品の 購入	(m³)				
		%				
		件	400.00	400.00	400.00	400.00
環境配慮 作業	廃棄物の RPF化	%		1.0%	2.0%	3.0%
		(t/年)	1,554.84	1,570.39	1,585.94	1,601.49
		%				
	(化石燃料の 代替)カッタ イ作業推進	(t)				
		%		1.0%	2.0%	3.0%
		(t/年)	798.36	806.34	814.33	822.31
		%				
	クリーン アップ 作戦	t				
		件				
		件				

購入電力の排出係数は、九州電力値0.518(kg-CO2/kWh)、イデックス値0.459(kg-CO2/kWh)を使用した。

平成29年度 環境活動計画

作成者 遠藤紘徳
作成日 平成29年11月18日

- 1 電力使用量及び燃料使用量は、総量で管理する。
- 2 廃棄物排出量は、事務所と処理など作業の一般廃棄物及び産業廃棄物に対しての排出量で管理する。
- 3 グリーン購入は、環境配慮購入対象商品を事務用品購入量の99%を占める用紙、ファイル類、作業服に決定し、取り組む。
- 4 環境保全社会活動は、社員の環境配慮意識を向上させるため、生活ごみ排出ルールの順守と無分別ごみの減少を推進する
- 5 上記の目標のほか、環境及び安全向上のために5S活動(整理、整頓、清潔、清掃、しつけ)に取り組む。
環境目標の担当部署及び責任者

主要な環境活動計画の内容

項 目	活 動 計 画 の 内 容	取 組 部 門						期 間	担 当
		第1 工 場	第2 工 場	第3 工 場	再 資 源 化 セ ン タ ー	収 集 運 搬	事 務 所		
二酸化炭素排出量	電力	①休憩時間の消灯	○	○	○	○	○	毎月	平田邦博、緒方利満、清武諒、中武博文、山浦一之、満石沙織
		②スクリーンセ이버設定、ブランク 1分間					○		
		③離席時はモニターの電源を落とす					○		
		④電動フォークリフトはアクセル操作をゆっくりする	○	○	○	○	○		
		⑤エアコンフィルターの毎月清掃	○	○	○	○	○		
		⑥エアコン終業、一時間前に電源を落とす					○		
		⑦蛍光灯のLED化	○	○	○	○	○		
	燃料	①安全で優しい運転5カ条				○		毎日	山浦一之
		②アイドリングストップ				○			
		③1速ギヤでアクセルを踏まない発進				○			
		④信号の先読みで惰性運転をする				○			
		⑤排気ブレーキを使用する必要のない運転。				○			
		⑥法定速度-2km/h走行の厳守				○			
廃棄物排出量	一般廃棄物	①裏紙、再利用とペーパーレス化	○	○	○	○	○	毎月	平田邦博、緒方利満、清武諒、中武博文、山浦一之、満石沙織
		②プレビュー確認で印刷ミスをなくす					○		
		③4R推進活動を展開する為に廃棄物の分別をする	○	○	○	○	○		
	産業廃棄物	①分別作業を徹底する。	○	○	○	○		毎月	平田邦博、緒方利満、清武諒、中武博文、山浦一之、満石沙織
		②分別された廃棄物の4R推進活動を展開する。	○	○	○	○			
総排水量	水使用量	①毎月の漏水確認	○	○	○	○	○	毎月	平田邦博、緒方利満、清武諒、中武博文、山浦一之、満石沙織
		②雨水利用の拡大。	○	○	○	○	○		
		③打ち水の適正運転	○	○	○		○		
		④ミストクーリング適正運転。	○	○	○				
グリーン購入	環境配慮商品の購入	①当社の購入対象となる環境配慮商品などを把握する。					○	毎月	満石沙織
		②環境配慮商品購入に当たっては、把握した対象商品から購入するようにする。(※対象となる環境配慮主要商品は調査の結果、作業服、コピー用紙、ファイル、トイレトーパーとした。)					○		
環境配慮作業		①廃棄物のRPF(固形燃料)化の推進	○	○				毎月	平田邦博、緒方利満、清武諒、中武博文、山浦一之、満石沙織
		②化石燃料の代替としてタイヤカット作業の推進			○		○		
		③木くずの木チップ(代替燃料)化の推進	○						
		④フィルムの分別圧縮、ダンボールの圧縮作業推進(リサイクル)				○			
		⑤工業団地内の清掃及び見回り等に関するクリーンアップ作戦の推進	○	○	○	○		毎日	平田邦博、清武諒、中武博文

平成29年度 環境目標の実績 平成29年10月～平成30年9月 作成 遠藤紘徳 作成日平成30年11月26日

項 目		年度 単位	平成29年		評 価
			(目標)	(実績)	
二酸化炭素 排出量	電力 (kwh)	%	-1.0%	25.0%	達成できなかった。 総量は昨年より大幅に削減できた。
		消費量	492,729.73	617,543.70	
		(kg-CO2)	227,326.47	284,233.07	
	燃料 (ℓ)	%	-1.0%	3.6%	
		消費量	170,123.50	176,512.93	
		(kg-CO2)	437,386.39	452,926.28	
	全体	%	-1.0%	10.9%	
		(kg-CO2)	664,712.86	737,159.35	
廃棄物排出 量(最終処 分量)	一般 廃棄物	%	-1.0%	-2.5%	達成できた。 9月30日の火災で破砕機が焼失し今後は最終 分が増加する。
		(t)	0.40	0.39	
	産業 廃棄物	%	-1.0%	11.0%	
		(t/年)	4522.24	5,020.89	
	全体	%	-1.0%	11.0%	
		(t)	4,522.64	5,021.28	
総排水量	水使用量	%	-1.0%	40.2%	達成できなかった。 第3工場の水道パイプ破損の影響が大きい。
		(m³)	395.01	554.00	
グリーン 購入	環境配慮 商品の購入	件	400	353	達成できなかった。
環境配慮 作業	廃棄物の RPF化	%	-1.0%	19.1%	達成できた。
		(t)	1570.39	1,871.09	
	(化石燃料の代替) カッタタイヤ 作業推進	%	-1.0%	5.1%	達成できた。
		(t)	806.34	847.46	
	クリーンアッ プ作戦	件	1	1	

平成29年度 環境活動計画の実施状況、及びその評価結果

取組に対する評価を以下に記載。

(評価 ○:ほぼ100%実施 △:30%～80%実施 ×:ほとんど未実施)

作成 遠藤紘徳

平成30年11月25日

項 目	活 動 計 画 の 内 容	取 組 部 門						評 価
		第1工場	第2工場	第3工場	タ再資源化センター	収集運搬	事務	
二酸化炭素排出量	電力	①休憩時間の消灯	○	○	○	○	○	継 続
		②スクリーンセイバー設定、ブランク 1分間					○	継 続
		③使用しない時間(昼休み等)PCの電源を落とす					○	継 続
		④電動フォークリフトはアクセル操作をゆっくりする	△	△	△	△		継 続
		⑤エアコンフィルターの毎月清掃	○	○	○	○	○	継 続
		⑥エアコン終業、一時間前に電源を落とす					○	継 続
		⑦蛍光灯のLED化	×	×	×	×	×	要 強 化
	燃料	①安全で優しい運転5カ条				○		継 続
		②アイドリングストップ				○		継 続
		③1速ギヤでアクセルを踏まない発進				○		継 続
		④信号の先読みで惰性運転をする				○		継 続
		⑤排気ブレーキを使用する必要のない運転。				○		継 続
		⑥法定速度-2km/h走行の厳守				○		継 続
廃棄物排出量	一般廃棄物	①裏紙、再利用とペーパーレス化	△	△	△	△	○	要 強 化
		②レビュー確認で印刷ミスをなくす					○	継 続
		③4R推進活動を展開する為に廃棄物の分別をする	○	○	○	○	○	継 続
	産業廃棄物	①分別作業を徹底する。	○	○	○	○		継 続
		②分別された廃棄物の4R推進活動を展開する。	○	○	○	○		継 続
総排水量	水使用量	①毎月の漏水確認	△	△	△	△	△	要 強 化
		②雨水利用の拡大。	△	△	△	△	△	要 強 化
		③打ち水の適正運転	△	△	△		△	要 強 化
		④ミストケールの適正運転。	△	△	△			要 強 化
グリーン購入	環境配慮商品の購入	①当社の購入対象となる環境配慮商品などを把握する。					○	継 続
		②環境配慮商品購入に当たっては、把握した対象商品から購入するようにする。(※対象となる環境配慮主要商品は調査の結果、作業服、コピー用紙、ファイル、トイレットペーパーとした。)					△	要 強 化
環境配慮作業		①廃棄物のRPF(固形燃料)化の推進	○	○				継 続
		②化石燃料の代替としてタイヤカット作業の推進			○		○	継 続
		③木くずの木チップ(代替燃料)化の推進	○					継 続
		④フィルムの分別圧縮、ダンボールの圧縮作業推進(リサイクル)				○		継 続
		⑤工業団地内の清掃及び見回り等に関するクリーンアップ作戦の推進	○	○	○	○		継 続

次年度(平成30年度)の取組内容

項 目		環 境 経 営 活 動 の 取 組 内 容	取 組 部 門					
			第 1 工 場	第 2 工 場	第 3 工 場	再 資 源 化 セ ン タ ー	収 集 運 搬	事 務 所
二酸化炭素排出量	電力	①休憩時間の消灯	○	○	○	○	○	○
		②スクリーンセイバー設定、ブランク 1分間						○
		③離席時はモニターの電源を落とす						○
		④電動フォークリフトはアクセル操作をゆっくりする	○	○	○	○	○	
		⑤エアコンフィルターの毎月清掃	○	○	○	○	○	○
		⑥エアコン終業、一時間前に電源を落とす						○
		⑦蛍光灯のLED化	○	○	○	○	○	○
	燃料	①安全で優しい運転5ヵ条					○	
		②アイドリングストップ					○	
		③1速ギヤでアクセルを踏まない発進					○	
		④信号の先読みで惰性運転をする					○	
		⑤排気ブレーキを使用する必要のない運転。					○	
		⑥法定速度－2km/h走行の厳守					○	
廃棄物排出量	一般廃棄物	①裏紙、再利用とペーパーレス化	○	○	○	○	○	○
		②プレビュー確認で印刷ミスをなくす						○
		③4R推進活動を展開する為に廃棄物の分別をする	○	○	○	○	○	○
	産業廃棄物	①分別作業を徹底する。	○	○	○	○	○	
		②分別された廃棄物の4R推進活動を展開する。	○	○	○	○		
総排水量	水使用量	①毎月の漏水確認	○	○	○	○	○	○
		②雨水利用の拡大。	○	○	○	○		
		③打ち水の適正運転	○	○	○			
		④ミストクーラーの適正運転。	○	○	○			
グリーン購入	環境配慮商品の購入	①当社の購入対象となる環境配慮商品などを把握する。						○
		②環境配慮商品購入に当たっては、把握した対象商品から購入するようにする。(※対象となる環境配慮主要商品は調査の結果、作業服、コピー用紙、ファイル、トイレトペーパーとした。)						○
環境配慮作業		①廃棄物のRPF(固形燃料)化の推進	○	○				
		②化石燃料の代替としてタイヤカット作業の推進			○		○	
		③木くずの木チップ(代替燃料)化の推進	○					
		④フィルムの分別圧縮、ダンボールの圧縮作業推進(リサイクル)				○		
		⑤工業団地内の清掃及び見回り等に関するクリーンアップ作戦の推進	○	○	○	○	○	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

関連関係法規への違反は、自主的にチェックした結果ありません。その他、訴訟はありません。
また、関係当局からの違反等の指摘はありません。

当社に適用される主な環境関連法規制一覧

分 類	名 称
法 律	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律
	電波法
	特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律
	冷媒回収推進・技術センター資格認定制度
	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律
	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)
	悪臭防止法
	使用済み自動車の再資源化等に関する法律
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
政 令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令
省 令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則
その他	一般廃棄物収集運搬業許可取扱要綱
	宮崎市北部工業団地協同組合との公害防止協定／誓約書及び同意書
	宮崎市北部工業団地協同組合運営管理規約
	宮崎県産業廃棄物協会の業界規範
	顧客からのリサイクル品質基準(木質燃料受入基準)
	顧客からのリサイクル品質基準(RPF受入基準)

平成29年度 代表者による全体評価と見直し結果

	見直しに必要な情報	今回の評価結果	代表者指示事項
環境方針	① 環境方針に示された環境への取り組みの基本的な方向性は適切か ② 環境方針が実行されたEA21全体の取り組みは効果的か	① 適切だった。 ② 有効であった。	現状を維持して活動の事
環境目標 環境活動計画	① 環境目標、環境活動計画状況は妥当か ・ 二酸化炭素排出量削減（省エネ等） ・ 廃棄物排出量削減 ・ 総排水量削減 ・ グリーン購入推進 ・ 環境配慮作業推進	廃棄物の受入量が18%増加したが、RPF成形機の故障等があった為、RPFの生産量が伸びなかった。燃費の良い車両への使用頻度が上がり、廃棄物の増加の割には燃料消費量を抑える事が出来た。電力、燃料とも目標を達成できなかった。 カットタイヤは入荷量の減少で未達だった。今後は、増加が見込める木チップ（代替燃料）の増産を推進する。	受入量が増加したことは評価できるが、RPF成形機の故障で生産が落ちた。メンテナンスと定期的に必要な部品の選定と準備を進め、突然のトラブルにも対応できる体制を整え、安定的な生産のできる体制にすること。
その他の経営環境システム	① 環境負荷に大きな変化はないか ② 法規・条例に大きな変化はないか ③ 実施体制は効果的か ④ 教育訓練は実施されているか ⑤ 外部からの苦情や要望はないか ⑥ 実施及び運用は適切か ⑦ 緊急事態の準備と訓練は適切か ⑧ 取り組み状況の確認は適切か	① 処理量が急激に増加した。 ② 水俣条約の発行で「水銀廃棄物の適正処理」について平成29年10月1日から施行された。 ③ 効果的だった。 ④ 実施できた。 ⑤ 苦情等はなかった。 ⑥ 概ね適切だった。 ⑦ 今季は見直せなかった。 ⑧ 概ね適切だった。	来期は教育と緊急事態の対応手順を見直すこと。

前回の指示への取組結果

木くずの受入量も増え、木チップの生産も増加できた。
 緊急事態対応の対応手順の見直しは出来なかった。来期こそ、教育内容と緊急事態対応手順を見直す。

総評

電力使用量が目標達成できなかった原因は、廃棄物受入量の増加が大かったが、燃費の良い車両への配車シフト進み、化石燃量の消費目標が達成できたことは良かった。
 受入量が増加した結果、分別処理が遅れ、その結果、最終処分量が目標達成できなかった。
 今後は、より機械化を進め、特に木チップの生産には新たな処理機械の導入も検討し、リサイクル率の向上を図っていく。